

評価計画、評価から評定への総括方法

1 学習の記録

各教科の観点ごとに「よくできる」「できる」「もうすこし」の3段階で評定する。

各観点は要録に準じて、①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度とする。

各観点と照らし合わせて、

・十分満足できると判断できる時…「よくできる」

・おおむね満足できると時…「できる」

・努力を要すると判断できる時…「もうすこし」

(評定値と算出方法は次ページ)

2 行動の記録

各観点について、「よくできる」「できる」「もうすこし」の3段階で評定する。

3 特別の教科 道徳

年間1回、学習活動における児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を個人内評価し、文章で記入する。

4 外国語活動・総合的な学習の時間・読書科

年間1回、児童の学習状況の特徴的な事項を記入するなど、児童にどのような力がついたかを文章で記入する。

5 特別活動

係名、当番名、所属するクラブ・委員会名を記入する。

6 所見

各教科や特別活動、行動に関して、児童の取組のよさや成長、実態について記述する。

7 出欠の記録

出席停止、忌引きの日数、欠席及び出席の日数を記入する。